

宮城県涌谷高等学校 [全日制課程 (普通科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県涌谷高等学校は、「質実・勤敏，謙譲・優雅，自律・協同（自己実現のために自分には厳しく 社会貢献のために他人には優しく）」を校訓とし，3年間の教育を通して豊かな情操及び健やかな身体を備えた均衡のとれた人材を育成します。また，特別活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し，自他の敬愛と協力及び公共の精神に基づき主体的に社会参加し，その発展に貢献できる学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 課題の発見・課題の研究・課題の解決の過程を経て探究型キャリア教育を充実させ，自己の興味・関心を様々な視点から考え，自己を表現し，地域社会の課題やニーズを自ら発見して未来を切り開くことができる<探究力>を育成します。
- 主体的・対話的で深い学びを重視した充実した授業をとおして積極的に社会に参画し，生涯にわたり主体的に学び続ける<人間力>を育成します。

<探究力>課題解決のために自ら考え，表現・実行し，その結果を振り返ってより良い方向に改善していく力

<人間力>他者との協働・調和をとおして自己を顧みること，新たに得た見方・考え方を生かして学びを広げようとする力

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通教科と実技教科の両方を重視します。
→普通教科では実社会で通用する基礎的な学力を，実技教科では豊かな情操を養います。
- 観点別学習を重視します。
→「知識・技能」偏重の教育からの転換を図り，「思考力・判断力・表現力」を大切にしつつ「主体的に学習に取り組む態度」を養います。
- 習熟度別の授業や多様な選択科目を設定し，個々の生徒に適した学びを実現します。
→生徒間の理解度の差が大きい教科を中心に習熟度別授業を実施するとともに，多岐にわたる生徒の進路実現のために多様な選択科目の設定を行います。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- 主体的に学習に取り組み，進路希望実現に向けて継続的に努力する生徒。
- 生徒会活動等の特別活動において，リーダーシップを発揮して中心的な役割を果たし，入学後も意欲的に活動しようとする意思のある生徒。
- 部活動において熱心に活動し，入学後も意欲的に活動しようとする意思のある生徒。
- ボランティア活動，ジュニアリーダー活動等，文化的・社会的活動に積極的に取り組み，入学後も意欲的に活動しようとする意思のある生徒。

学校名	宮城県涌谷高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	普通科	募集定員	120人

選抜順序	共通選抜 → 特色選抜
第2志望とすることができる学科・コース	なし

共通選抜

募集人数	72人 (募集定員の 60%)
学力検査:調査書	5 : 5
学力検査点(500点満点)と調査書点(195点満点)の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は5:5とする。	

特色選抜

募集人数	48人 (募集定員の 40%)	
配点	1 調査書 315点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.0倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を4.0倍にする	合計 815点
	2 学力検査 500点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を1.0倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する48人の150%の範囲に含まれる者(72人)を対象として行う。 ・ 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 	

面接・実技・作文のうち実施するもの	なし
-------------------	----

社会人特別選抜	無
---------	---

第二次募集(選抜方法等)	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 525点
	2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	